

■ 枚方市立生涯学習市民センター・図書館（蹉跎・牧野） 指定管理者管理運営評価表（令和3年度実績）

公の施設の名称等			
名称	枚方市立生涯学習市民センター・図書館（蹉跎・牧野）		業務内容 【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
所在地	枚方市北中振3丁目27-10 枚方市宇山町4-5、(牧野北分館)枚方市牧野北町11-1		
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理者	公の施設の所管部署	指定管理期間	
名称	さだ・まきの文化創造プロジェクト 代表団体名：株式会社小学館集英社プロダクション	観光にぎわい部 文化生涯学習課 教育委員会 中央図書館	平成30年4月1日から令和5年3月31日 (2018年4月1日から2023年3月31日)
所在地	東京都千代田区神田神保町2丁目30番地		

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識並びに今後の方向性が明確に提案されている	・幅広い世代の市民が集まり、交流し、新たな利用者の開発と、新たな地域文化を創造する拠点となるよう、生涯学習施設と図書館の一体的で魅力的なサービスを提供する。 ・市民の方が「住み続けたい」「学び続けたい」と思わせるような、「人」、「文化」、「未来」をつなぐ拠点となるよう、魅力あるサービスやシステムを構築する。	【共通】 ・センターと図書館の共催事業や互いの事業への参加協力等、施設の一体運営に取り組んでいます。また、センターだより・ホームページ等で、常に利用者へ最新情報を発信し、安全にご利用いただける対策を図りました。 ・講座やイベント開催時には、内容に関連した書籍の展示や図書館への案内を行う	3	・ウィズコロナの観点から、YouTubeの公式チャンネルの開設など、新しいサービスを取り入れている点は評価します。更なる周知や再生回数の増加に向けた取り組みを期待します。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>など、生涯学習施設と図書館が連携したサービスの提供をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1階総合窓口と2階ロビーに、図書館資料の利用を促すリーフレット「サークル活動に図書館の本を活用しませんか」を設置しました。 利用者の安全を確保し、安心して活動ができるように、館内の机・イスなどの配置変更や消毒対応など、感染拡大防止対策を講じながら、より良い環境を提供しました。 コロナ禍の中でも、感染症対策を重視しながらイベントや講座を厳選し開催することで、市民同士の交流拠点となるよう努めました。また、フェイスブック、ツイッターやホームページから情報提供を行い、更に8月からは新たなオンライン活用としてYouTubeの公式チャンネルを開設しました。センターだよりや利用者アンケート等で周知しながら、様々なコンテンツを配信し、サービスの提供をしました。 <p>【さだ共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合窓口では、センター・図書館事業の案内や利用者が日常必要とする情報を提供できるようにしています。また、1階の図書館内にセンター事業のポスターを掲示、2階ロビーに図書館からのお知らせや特集・機関誌を掲示・配架するなどのサービスを提供しました。 <p>【牧野共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1階ロビーではセンター・図書館と合同で季節に合わせた装飾展示を施し、来館される方々に楽しんでいただきました。図書館では装飾に合わせた書籍を展示し、装飾を見ながら進むと図書館の関連書籍場所にたどり着くような仕掛け等も行いました。 			
②施設運営に関する計画					

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
(ア) 管理経費・管理体制の提案					
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、総合窓口における業務内容・方法等の具体的な内容について、複合施設としての利用者サービス向上、効率的・効果的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時スタッフの配置、市民センター及び図書館業務各従事者と連携する等、柔軟でより効率的・効果的な人員配置とする。 	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務において、センター職員が図書の返却業務を行ったり、図書館職員がセンター諸室の鍵の受渡しを行ったりするなど、連携を取りながらサービスの提供をしています。また、開館前に合同朝礼を実施し、当日の行事などの共有に努めました。 ・総合窓口センター職員1名、図書館職員2名を配置。混雑時には増員するなど、連携を図りながら窓口対応を行いました。 ・センターのイベントや講座の開催時はセンターと図書館が協力し合いながら必要な人員配置を行いました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて柔軟な人員配置を行い、効果的・効率的な運営を行った点を評価します。 	3
(イ) 改善提案					
利用者サービス向上の観点から、両施設の設置目的等を踏まえた物品販売や新たな備品の貸出しなど事務所サービスが提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きデジタルサイネージ、及び Wi-Fi 環境の整備を行うほか、ワンストップサービスを行う。 ・全職員が「地域コンシェルジュ」として利用者のニーズに合わせて、枚方市が実施している相談窓口の紹介や地域情報などのイベント情報の提供、また市内各施設での情報などを共有化し、様々な支援を実施する。 	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージは、センター施設の利用状況を毎日更新し、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置期間の施設の運営状況や枚方市からのお知らせ、施設行事等を、随時、情報発信しました。 ・Wi-Fi サービスを、2018 年度から 2 階ロビーで導入開始しました。 ・枚方市ホームページや「広報ひらかた」などから情報を収集し、職員間で地域情報などを共有しました。 ・インターネットにアクセスできる環境を持たない方や転入されてきた方の相談につい 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi ルーターの交換や中継器の設置により利用環境を改善し、さらなるサービス向上を図るなど良好な管理運営を行っている点を評価します。 	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>て、懇切丁寧に支援するよう心がけました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内、駐車場案内、などの各種問い合わせに対しては、市のホームページを参照するなどして案内しています。その他に、装飾花等の手配サポート、催事やイベントのチケットの受託販売、宅配便発送等のサービスも行っています。 <p>【さだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi ルーターの交換及び1階と3階に中継器を設置し、Wi-Fi の利用ができる環境を改善し、利用者へのサービス向上を図りました。 <p>【牧野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019 年度に1階に Wi-Fi 中継器を設置し、継続して提供しています。 			
生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に入れる雰囲気作りのサービスとして、館内装飾を充実させる。 利用者状況・ニーズに合わせた設備を導入 危険箇所の案内など。 	<p>【センター】</p> <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の装飾として、2階ロビー案内掲示板付近とアート・スペース、総合窓口等に、毎月テーマを考え、装飾をしました。 利用者の中には、毎月変わる装飾を楽しみにしていただいている方や、装飾を背景に写真撮影される姿もあり、施設の雰囲気を明るく演出できるように努めました。 9月、1月、2月、3月に館内装飾をYouTubeにて配信し、施設の明るいイメージアップになるよう努めました。 駐輪場の案内表示板が、経年劣化により表面の傷みが強く触って怪我をする危険性があるため、プラダンを使い補修しました。 子ども達の安全性を考慮し、保育室の本棚コーナーにクッションガードを施しました。 料理室では、使用頻度が多い大皿を軽くて使いやすいコレールに、経年劣化した鍋・ザル、故障したホットプレート・電気炊 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>飯ジャーを新調するなど備品を改善しました。保育室では、時計の劣化による故障の為、保育室のイメージに合わせた時計を新調しました。その他には、ホールに設置しているグランドピアノを利用者が移動しやすいように、補助キャスターを新調し改善、プレイルームには、専用の長机と椅子を設置し、利用者が快適に利用できるよう努めました。</p> <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節感あふれる館内装飾、展示を、1階ロビーに行いました。大きな装飾は来館者からいつも大変好評で、装飾を背景に写真撮影される方が見受けられました。 ・2月の展示物のメイキングの様子をYouTubeで「ロビー展示のできるまで」として配信しました。 ・イベント当日のウェルカムボードや館内装飾等用として、利用者の目につくようにブラックボードを設置しました。 ・ホールの設備備品として、ボーカル用マイク・楽器用マイク・ケーブルセット・マイクスタンド・楽譜台を購入し利用者の利便性向上に努めました。 ・調理室の料理用ハンドミキサーが故障した為、新調しました。 <p><北分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の装飾を事務室前天井や壁面に行っています。折り紙など身近な材料を使った職員手作りの装飾に、利用者からは「楽しみにしている」「作り方を教えて」などの声を頂きました。 ・「北分館つうしん（壁新聞）」の掲示を始め、季節の話題や催事のお知らせを伝えています。 ・施設を囲む花壇には、四季折々の草花を植栽し、来館者から季節の花を楽しみにしていただいています。 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化に伴いホワイトボード、卓球台、ホールモップを新調し備品の改善に努めました。 ・和室に設置している可動式鏡が破損した為、割れないアルミミラーを新調し設置しました。 ・通用口のドアマットが劣化していたため、新調しました。 			
図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックシャワーの導入 ・デジタルサイネージによる利用促進 ・安心・安全で利便性の高い施設の維持 	<p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書除菌機を継続して設置しています。年間利用回数は、さだ 9,841 回（前年度 5,862 回）、牧野 11,770 回（前年度 7,487 回）。 ・デジタルサイネージは、センター施設の利用状況を毎日更新し、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置期間の施設の運営状況や枚方市からのお知らせ、施設行事等を随時情報発信しています。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飛沫防止パーテーション設置、こまめな換気、共用スペースを定期的に消毒する等、安心・安全に利用していただける環境づくりに努めました。 <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書点検期間中を利用し、書棚が高く本が取りづらかった棚の高さ調整し、利用者にとってより本を見つけやすくなるよう改善を図りました。 <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文庫棚最下段に傾斜をつけ、立ったままでも書名を読みやすいようにしました。閲覧席のイスカバーで汚れがあるものは取り替えました。 ・雑誌架を整理して展示用の棚を増設し、展示の種類を増やしました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・図書除菌機はわかりやすい場所に設置しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、利用者の意識向上もあって、よく利用されています。 ・飛沫防止パーテーションはカウンターの雰囲気を損なわないよう設置され、こまめな換気や消毒とともに、利用者の安心・安全な環境づくりに努めていることが利用者にも伝わる措置でした。 	3
(ウ) 事業提案					

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
牧野北分館の調理室や和室等を活用した事業が提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 類似施設で年間約 1,000 講座以上実施する共有データベースを活用して、利用者のニーズにあったプログラムを提供する。 実施にあたっては、現在の利用団体の妨げとならないよう、稼働率の低い空き部屋、空き時間を利用し、新たな利用者の獲得につなげる。 講座参加者同士が仲間となり、サークル形成につながるよう支援する。 	<p>【センター】 ＜北分館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「身近な防災・減災講座～『もしも』の時も『いつも』の時も～」では、調理室で非常食の調理のデモンストレーションを行い、和室では新聞紙でスリッパを作る方法などを学べるようにすることで、調理室と和室の両方を有効に利用した講座を開催しました。 今まで北分館で行われていなかった語学講座「中国語にふれてみよう」を開催しました。親子での参加で、子どもたちは中国語に興味を持って学んでいました。 「ラジオを作ろう」では、子ども 1 人につき講師が 1 人という手厚い体制の中、子どもたちは祖父世代の講師から道具の使い方、はんだ付けのコツなどを学び、物づくりを楽しんでもらいました。 世代間交流を図り、北分館のことを知って頂くきっかけ作りをしました。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
旧市民室サービスコーナーの活用について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 市が提示する「和やかなスペースと静かな環境の分離」を実現するべく、旧市民室サービスコーナーを「ラーニングコモンズ」とし、自習室用の机や、閲覧用の机やイス等配置し、特別に静かな環境を望む利用者に対して提供する。 	<p>【図書館】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ラーニングルーム」として静かな環境での自学自習の場を継続して提供しています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月27日～6月20日の期間は閉室しました。 6月21日より飛沫防止パーテーションを設置の上、座席数を16席にして再開室しました。開室時は、換気・消毒をこまめに実施しました。 年間利用実績 ＜さだ＞3,295件(前年度3,662件) ＜牧野＞3,362件(前年度2,801件) 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習のきっかけづくりやセンターの認知度の向上・活性化につながるような自主事業が具体的に提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の基本方針を1. 市民の学びを支えるもの、2. 学びの成果の活用を支えるもの、3. つながりを支えるものとし、類似施設で年間約 1,000 講座以上実施する共有データベースを活用して、利用者のニーズにあったプログラムを提供する。 実施にあたっては、現在の利用団体の妨げとならないよう、空き部屋、空き時間を利用し、新たな利用者の獲得につなげる。 人材育成講座、世代別講座、市民大学など。 	<p>【センター】</p> <p>< 共通 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズを捉えるために、利用者アンケートや開催する講座・イベント毎にアンケートを実施し、効果的・効率的な企画を検討しました。 <p>< さだ ></p> <ul style="list-style-type: none"> 「アロマの活用方法など使い続けられるように学びたい」との要望により、「アロマを使った手作り石けん」を開催し、10代から70代まで幅広い世代の方々にご参加いただきました。 「顔から元気に！ フェイシャルヨガ講座 Vo2」では、年齢、性別に関係なく気軽に参加できることで、参加者の施設認知につなげ、今後もサークル活動や講座への参加のきっかけにさせていただき目的として開催しました。参加者の中で、引き続きヨガを習ってみたいと興味を持たれた方に、団体紹介カードにご登録いただいているサークル団体をご紹介しました。 「基本から学ぶデッサン講座」では、基礎知識を習得してもらい、自発的なスキルアップを目指し、習う側から教える側につながる講座として開催。今回は単発での開催でしたが、連続講座として開催することで、人材の育成を目指していきたいと検討しました。 アート・スペースで2回写真展を開催された方を講師に迎え「写真の撮り方教室」を開催。講師として初めての講座開催に向けてセンタースタッフがバックアップし人材育成事業として取り組みました。また、今後も引き続き講師として活動いただけるようにボランティア講師として登録いただきました。 小学生を対象に「さだ科学工作教室 ホバークラフトを作ろう」を開催しました。完 	3	<ul style="list-style-type: none"> 無料もしくは安価で事業を実施し、適切な管理運営を行っています。今後は、施設利用につながるような事業の展開を期待します。 	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>成した作品の試走時間では、終了時間まで熱心に走らせる子どもやテキストを熟読する子どもがおり、科学や物づくりに興味や関心をひろげていただけたと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般向けとして館内装飾の中から、利用者の方に好評の“季節の花”をセンター職員と一緒に気楽に楽しみながら仕上げていくワークショップ「手軽に作るペーパーアート ポインセチアを作ってみよう！」を開催し、作ってみる楽しみを体験いただきました。 ・マナビスト講座「ウィズコロナ時代の賢い家計運営術」では、講義中、熱心にメモを取られる方が多く、アンケートでは「これから実践していきたい」「世の中のお金の動きを具体的な数字で知ることができた」など、前向きな感想をいただくことができました。 ・市民大学講座「歴史を語る『源氏物語』」では、古典に触れる意義を分かち合っていたく場として開催しました。講師のファンをはじめ 20 代から 80 代までの方の参加があり、同講座の第 2 弾を熱望するお声をたくさんいただきました。 <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で減少した生演奏を聴く機会を求める声に応えて「ピアノ連弾の楽しい世界」を開催しました。 ・昨年度より開始している、ロビーを活用して気軽に市民が参加できる内容を取り上げた「まきの広場」シリーズ(少人数ミニ講座)を継続展開しています。 ・「盲導犬とわたしの暮らし」では、健常者、障がい者を含め、困っている人を助ける気持ち、支え合うこと、福祉について考えてもらう講座を開催しました。 ・「カリグラフィー1 日体験」では、参加者がカリグラフィーを学び始めるきっかけとなる 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>ことを目的として開催いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナビスト「おとなのための性教育～思春期世代の心と体の変化を知り、かかわり方を考える～」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。 ・マナビスト講座「国土地理院の南極観測～第46次南極観測隊に参加して～」を国土地理院の職員を講師に開催。南極での体験や観測活動についてたくさんの動画を見ながら説明いただく楽しい講座となりました。 <p><北分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧野広場シリーズ「ハーバリウムペンを作ろう！」を開催しました。講師は、センター職員との協力のもと複数回の講座開催、講師体験により、講師としての実績を積んでおり、人材育成事業として成果をあげています。 ・「中国語にふれてみよう」では、センター職員がはじめて講師としてチャレンジ。他の職員が協力のもと、講座内容を構成し講師養成に努めました。 			
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業、及び一般成人を対象とした図書館読書推進事業が具体的に提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長段階にあわせたサービスの提供 ・乳幼児を含む子どもへお話会や工作会を実施 ・学齢期からティーンズ・ヤングアダルトに向けサービスの提供 ・高齢者の居場所づくり、日常的な課題にたいしてのイベント開催 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次枚方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児期、学齢期、ヤングアダルト世代までを対象とし、それぞれの成長に合わせたサービスを行っています。 ・読書シートを継続提供中です。※20冊達成者には鉛筆をプレゼント。 ・配布枚数 <さだ>901枚 20冊達成者:385名 <牧野>834枚 20冊達成者:263名 スタンプを押すと嬉しそうな顔を見せてくれたり、20冊達成時には「新しいシートも頑張る」と誇らしげに言ってくれたりする子もいて、楽しみながら読書に親しんでいる様子が見られました。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・継続中の読書シートは読書意欲を喚起するきっかけのひとつとなっています。達成者は配布枚数の半分に満たないが、子どもとスタッフ間のコミュニケーションの様子が窺え、図書館に行くきっかけともなっていると感じます。 ・年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事も中止や自粛をせざるを得なかったが、それ以外は活発な活動状況であり、図書館への来館者数を増やす様々な働きかけが見られました。 ・様々な切り口で事業を展開し、図書館や読書を身近なものに、また、事業の主題を通して知への探求心を高める取り組みは評価できます。 	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の図書館見学、学校訪問おはなし会では、学年に合わせて実施し、子どもたち、先生方へ図書館への関心を持ってもらうように努めました。 <さだ> ・毎週土曜日の定例おはなし会は 4 月 25 日～6 月 20 日まで緊急事態宣言のため中止。6 月 21 日より感染防止対策に努めながら再開しました。 ・ひらかた絵本まつり期間 4 月 23 日～5 月 12 日に予定していたおはなし会・工作は、緊急事態宣言のため 4 月 25 日以降に予定していた会を中止しました。 ・7 月 27 日に開催した「子どものための図書館活用術」では、夏休みの宿題や自学自習に役立てられるよう、科学実験（水の入ったペットボトルを押すと中にいる魚が泳ぎだすのはどうして？）をテーマに、図書館での本の探し方や調べ方を楽しく学んでもらえました。 ・7 月 31 日に「こわいはなしのおはなしかい」を開催しました。 ・8 月 16 日に予定していた「列車の運転士になるには！」はまん延防止等重点措置により講師派遣不可となったため中止しました。 ・8 月 21 日に「ペットボトルで空気砲」を開催しました。 ・10 月 24 日「ぬいぐるみの図書館おとまり会」を実施しました。子どもたちは、ぬいぐるみと一緒に楽しそうにおはなし会に参加していました。ぬいぐるみのお迎え時には、ぬいぐるみがその子のために選んだ本を嬉しそうに借りる子たちの姿も見受けられました。 ・2 月 13 日「鉄道おもしろ講座」を実施しました。この事業はいずれの年齢の方にも楽しんでいただけるもので、実際に大人 		<ul style="list-style-type: none"> ・YA(ヤングアダルト)コーナーでのおすすめ本の面出しや読後感想のPOP表示など、取り組みに工夫が見られます。効果測定は難しいが、そこも含めて自己評価をお願いできればと思います。 	

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>の方の参加も多くありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の講座では、図書館資料を合わせておすすめし、事業と合わせて図書館利用を奨励しました。 <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日の定例おはなし会を7月より感染予防対策を行い、規模を縮小して再開しました。 ・ひらかた絵本まつり期間4月23日～5月12日では、予定していた「青空おはなし会」は中止しました。「としょかんでナゾときゲーム」は3日間のみ実施、「絵本のお楽しみみふくろ」は期間中提供しました。（ナゾときゲームは3月19日から再開しました。） ・夏休み期間にじっくりと読書に向き合ってもらおうことを狙い「本のサマーギフト」を実施しました。 ・8月2日～6日の毎日、小学生向け「レッツ！としょかん探検」を開催し、低学年、高学年に分けて毎日午前午後に分けて2回実施しました。 ・8月のおはなし会は恒例の「おばけのおはなし大会」とし、怖さのレベルを変えて実施しました。 ・児童コーナー壁面に子どもの薦める本のキャプション掲示「みんなのほんだなをつくらう」は、用紙を刷新して継続しています。 			
生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターでも貸出した図書を楽しむことができる雰囲気を醸成 ・「図書館活用方法講座」、「物語食堂」、「枚方の歴史散歩講座」など連携事業を企画し実施する。 ・施設全体で統一テーマによるイベント開催 ・市民が気軽に立ち寄れる雰囲気を醸成することで居場所づくりにつなげる。 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各利用者のスタイルに合わせて図書館、ラーニングルーム、2F ロビーで自由に読んでいただけるようにご案内しています。 ・2階ロビーでは、図書館のイベント広報やYA（ヤングアダルト）機関誌等を設置し、書籍の紹介等を行うことで、全館共通で一体感のある雰囲気づくりを行っていま 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内の図書コーナーを充実させることで、センターロビーで図書を読む利用者が増え、複合施設として、図書館の閲覧室以外でも利用者が図書を読みやすい雰囲気の醸成に努められました。 ・一般向けの事業は、好みや関心が細分化されるため、テーマ設定が難しいが、季節や知への好奇心をくすぐる事業のテー 	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> センターのサークル活動に図書館資料を活用してもらえるよう案内リーフレットを作成し、総合窓口・2階ロビーに設置しました。 生涯学習市民センター、図書館が一体となった事業を展開するため、イベント開催時には会場内で見ていただけるように関連資料を展示するなど連携して実施しました。 季節イベントの開催や季節ごとの館内装飾を充実し施設に親しみ、次回来館する楽しみをもっていただけるように取り組みました。 <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> 休館期間中、図書コーナーの本棚を増設。小学館集英社プロダクションからの寄贈本や利用者からの寄贈本で充実した本棚となり、たくさんの利用者にご活用いただきました。 センターイベント「アロマを使った手作り石けん」「サンサン人形劇場」「ペーパーアートワークショップ ポインセチアを作ってみよう！」「みつろうエコラップを知ろう・作ろう」、「ボタニカルアート体験」「歴史を語る『源氏物語』」に合わせ事業会場内には関連資料を展示し、図書館資料の貸出しにもつながりました。 「夏の映画鑑賞会 秘密の花園」を上映。夏休みのセンターと図書館の連携事業として開催しました。上映後に、会場にて司書によるブックトークを実施。原作の世界観や関連資料の紹介を行うことで、貸出利用促進にもつながりました。 クリスマスのイベントでは、図書館主催の「冬のおたのしみかい」でのプレゼントをセンター職員が作成し、当日プレゼントしました。参加者には、ささやかながらクリスマ 		<p>マにあわせて本の紹介をするなど、事業全体に厚みを持たせる取り組みが見られた点が評価できます。</p>	

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>ス気分を味わっていただきました。</p> <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍の整理をし、リニューアルしました。 ・「ゾンビ映画で読み解く現代社会」「サンサン人形劇場」「ひらかたにはくぶつかんがやってくる」「ロボットプログラミング体験」「やってみよう楽しい科学実験」「盲導犬とわたしの暮らし」など、会場内には関連資料を展示しました。 ・「大人のための図書館活用術」では施設を利用することで心身ともに健康になることをテーマとし、センターでのサークル活動の紹介も行いました。 ・センター自主事業のスマートフォン活用講座では、「スマート貸出」「スマート登録」「ひらかた電子図書館」の利用法を紹介しました。 ・毎月1F ロビーに季節に合わせた装飾を実施。6月の「雨」モチーフではカエルの足跡を床に貼り図書館へ誘導、館内では「カエル」の本を展示しました。 ・七夕の笹を1F ロビーに設置、来館者に願い事を書いた短冊をつるしてもらいました。 ・「国土地理院の南極観測～第46次南極観測隊に参加して～」の講座では、環境問題に関心を持ってもらえるよう温暖化についても話していただき、図書館でも温暖化関連図書の紹介、ロビーでも関連の展示をしました。 			
<p>牧野施設の1階ロビー(エントランス)や、蹉跎施設の夜間の時間帯における事業の実施につ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1階ロビーは気軽に立ち寄れる雰囲気を作成するため、季節に合わせた館内装飾や季節のイベントを実施 ・蹉跎施設の夜間の時間帯を活用したビジネスマンや女性を対象にしたイベント講座を実施 	<p>【センター】</p> <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の装飾として、1階ロビーに4月「桜」、端午の節句には「五月人形」、5月「カーネーション」、6月「雨のしずく」、7月「吹き流し」、9月「お月見」、10月「ハロウィン」、12月「クリスマス」、1月「お正 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の装飾は、両施設ともに利用者に喜ばれていました。 ・ビジネスマンや女性をターゲットにしたイベントを実施されたのはよかったです。ターゲットとした方々の参加が少なかったのは、今後の課題であると考えます。 	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
いて、具体的に提案されている		<p>月」、2月「節分」、3月「ひな祭り」の装飾をしました。</p> <p>どれも大変好評で、装飾を背景に写真撮影される利用者が見受けられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月の装飾と母の日に合わせて、「いっしょに作ろう！カーネーション」を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。 <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> 「基本から学ぶデッサン講座」を開催。落ち着いた空間の中で、デッサンに打ち込むことができる夜間時間帯を利用した講座として開催しました。仕事帰りでも今後の趣味を増やしたいとの目的で参加された方もいました。開催時には、図書館からデッサンに関する書籍の展示を協力いただき、興味を持たれた方が貸し出しを希望されるなど図書館利用にもつながりました。 			
「滞在型図書館」「課題解決型図書館」のコンセプトを具体化するアイデアが提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 本施設を「生涯学習市民センター」「図書館」と役割を分けるのではなく、双方が今求められているサービスを補いあい、提供することで、複合施設として新たな魅力あるサービス・空間を創出する。 ◆滞在型図書館 <ul style="list-style-type: none"> 滞在しやすい環境整備による居場所づくり。 利用目的にあった図書の提供 学習環境の整備 センター図書館連携による自主事業の実施。 ◆課題解決型図書館 <ul style="list-style-type: none"> 身近な課題解決の場として、レファレンスサービスの周知と利用促進を行う。 図書館専用のWebシステムを提供 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各利用者のスタイルに合わせて図書館、ラーニングルーム、2Fロビーで自由に読んでいただけるようにご案内しました。 2階ロビーでは、図書館のイベント広報やYA(ヤングアダルト)機関誌等を設置し、書籍の紹介等を行うことで、全館共通で一体感のある雰囲気づくりを行っています。また、休館期間中、図書コーナーにおいて、さだでは本棚を増設、牧野ではリニューアルしました。 コロナ禍において長時間の滞在が忌避される中ではありましたが、換気・消毒の徹底やパーテーション設置、マスク着用、手指消毒の奨励などを行いながら、市民には施設を利用していただきました。短縮開館終了時には「21時まで開いていると助かります」というお声もいただきました。 関連資料を講座会場内に展示すること 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「滞在型図書館」としては、2階ロビーやラーニングルームにおける様々な情報提供を行うなど、一定の取り組みを行い、「課題解決型図書館」としては、日常のフロアワークやレファレンスデータベースの活用などに取り組み、利用者の反応も良く、一定の評価ができる内容となりました。 	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>で、講座終了後は図書館内で貸出、及びその他の本を読書される姿も見受けられました。</p> <p>【図書館】 <共通> ・利用者からの様々な問い合わせに対応できるよう、図書館流通センターWeb システム、NDL レファレンス協同データベース等を活用しています。利用者に気軽に声をかけてもらい易いよう、カウンターでは「調べもの」ということばで案内表示を行っています。また、フロアワークの際には、様子を見ながらお声掛けを行っています。 ・枚方市各課から届く案内を、掲示と共に関連資料展示と組み合わせ、市民に様々な情報の提供を行いました。「人生会議の日」では高齢者介護の問題を、「健康茶配布」ではフードロス削減から SDGsに関心を持ってもらうことができました。</p>			
(エ)利用者対応提案					
利用者に対する接遇対応向上について、具体的に提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との日常のコミュニケーションを重視 ・ホスピタリティある対応 ・職員研修 ・見やすい掲示板の作成 ・広報の充実と拡大 ・市内・地域内の情報集約及び発信 	<p>【共通】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとる中で、利用者の安全を第一に考慮し、距離をとりながらの声掛けやコミュニケーションを図りながら実施しました。 ・職員研修では、個人情報保護研修、ハラスメント研修、人権研修、マナー研修など全職員を対象に実施しました。 ・総合窓口、2 階センター窓口で身近な情報収集をはじめ、広報ひらかた等様々な媒体から新しい情報を収集し提供しました。</p> <p>【センター】 <さだ> ・2019 年から階段の各踊り場に掲示板を設置し、継続活用しています。 <牧野></p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> 2019年から掲示やチラシラックを分かりやすく分類し活用しています。 			
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 苦情対応マネジメントシステムを構築する。 未然に防ぐ取り組み、すばやい初期対応、ヒヤリ・ハット事例集の作成、対応策の開示・共有 苦情対応マニュアル作成と研修の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情発生時には、日報に記載し対応策を含め全職員で共有しました。また、合同朝礼にてセンターと図書館で情報共有しました。 職員全員が日頃ヒヤリとした、ハットとした事例をヒヤリ・ハット簿に書き込み、事例集として全職員に共有しました。さだ37件、牧野21件、牧野北7件。 トラブル・苦情があれば、必要に応じて報告・説明し、月例報告書にて最終的に報告しています。また、必要な場合は施設内に掲示し施設としての対応を明確にしています。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
利用者等の安全・財産の保全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関する基本的な資格の積極的な取得、利用者が安全に施設を利用できるよう、安全備品を設置し、施設賠償責任保険への加入、高いホスピタリティと高度な専門知識と技術を兼ねえた職員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 施設に必要な防火管理者・電気主任技術者・建築物環境衛生管理者等の資格を選任しています。また、建築設備定期点検や消防設備点検等は有資格者により実施しました。 救急箱の設置や緊急時持ち出し袋の整備を行いました。また、備蓄品の使用期限や救助救出用資機材の必要数等を定期的に確認しました。 施設賠償責任保険には、センターは三井住友海上保険「賠償責任保険」、図書館は損害保険ジャパン「賠償責任保険」に加入しています。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
市民サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者懇談会、アンケートや職員のヒヤリ 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点やご意見があれば、随時館内に掲 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートについて、具体的に提案されている	ングにより寄せられた利用者の意見・要望について、ホームページ並びに施設内掲示板に、ご意見、要望に対する回答を適宜開示する。実施された改善策についても、適宜掲示を行う。	示し、ご回答いたします。 ・令和3年度第1回利用者アンケートの集計結果は12月、第2回利用者アンケートの集計結果は3月に、館内・ホームページにて掲載いたしました。		できます。	
【施設の管理に関する事項】					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理運営計画が提案されている	・『地方自治法』及び『図書館法』で示す「公の施設」「公立図書館としての責務」を理解し、正当な理由なく施設の利用を拒むことや、不当な差別的扱いは決して行わず、公平・公正な利用の確保を徹底する。	・正当な理由なく施設の利用を拒むことや、不当な差別的扱いは行わず、公平・公正な利用の確保を徹底しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている	・用途、特性に合わせた日常的な安全点検の実施	・「修繕計画・実績表」を作成し、毎月開催の運営会議で優先順位を検討・確認し、無駄なく計画的に修繕を実施するよう努めています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の提案がされている	・関係法令に従い、廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理を行う。	・所定の保管場所で一般廃棄物、産業廃棄物、資源ごみを分別し、枚方市の許可を受けた一般廃棄物収集運搬業者と契約し、適切に廃棄物を処分しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
備品管理に当たり、管理簿の整備並びに責任所在について提案されている	・現在の備品台帳と現物とを照らし合わせ有無や欠損、番号など表記など基本情報を確認する。	【センター】 <共通> ・「枚方市備品等無償使用可能一覧表」を整備し、内容変更があった場合は、随時更新を行い管理しました。 【図書館】 <共通> ・「枚方市備品等無償使用可能一覧表」及び「TRC 管理物品一覧」を整備し、内容変更があった場合には、随時更新を行い適正に管理しました。	3	・適切に管理されていることを現地で確認できました。	3
業務仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている	・業務仕様書の規定に従い、有資格者や経験者を積極的に採用し、よりよい施設の管理運営を実施する。	【図書館】 <さだ> ・司書率 83.3% <牧野> ・司書率 90.9% 【共通】 ・月例の運営会議を開催し、施設設備・施設運用・事業展開について情報共有を徹底しています。	3	・有資格者の雇用率が高く、設備や事業などの情報共有もできており、適切な運営ができています。	3
公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推	◆小学館集英社プロダクション ・公正採用選考人権啓発推進員は、人事機能を要する東京本社の千代田区に配置している。 ◆図書館流通センター ・図書館流通センターは、東京都文京区と大阪府吹田市に人権啓発推進員を設置している。 ◆長谷工コミュニティ ・長谷工コミュニティは、大阪府大阪市中央区に人権啓発推進員を設置している。	【小学館集英社プロダクション】 ・人事機能を要する東京本社の千代田区に公正採用選考人権啓発推進員を配置しています。 【図書館流通センター】 ・東京都文京区と大阪府吹田市に公正採用選考人権啓発推進員を設置しています。 【長谷工コミュニティ】 ・大阪府大阪市中央区に公正採用選考人権啓発推進員を設置しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
進員」を設置している					
全ての従事者が人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう人権研修について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 人権マニュアルを活用した人権研修を行い、従事者全員が人権についての理解を深める研修を行う。人権マニュアルを活用した人権研修を行い、従事者全員が人権についての理解を深める研修を行う。 人権研修は各施設で年 1 回以上行うほか、各企業でも年 1 回以上実施する。 	<p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 月に大阪法務局人権擁護部による人権研修「大人の人権教室」を実施しました。 <p>【図書館】 ＜さだ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 月に実施しました。 <p>＜牧野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 月に実施しました。 <p>【長谷工コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7 月に社内社員向けの人権研修「リスク予防・コンプライアンスについて」を実施しました。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 人権研修が年1回は実施されていますが、目標は「1回以上」としています。人権は社会的に関心の高い部分であり、関連図書も多数出版されています。「選書」につながる観点からも、1回にとどまらず研修を実施すれば、さらなる評価につながったと考えます。 	3
障害者法定雇用率が達成されている（申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ雇用率が達成できるよう事業計画書で提案されている）	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学館集英社プロダクション ・昨年まで法定雇用率の 2%を達成していたが、現在の障がい者雇用率は 1.61%であり、あと 1 名の採用で規定の 2%に届く状況 ◆図書館流通センター ・図書館流通センターの障がい者雇用率は現在 2.25%で、法定雇用率を達成しており、引き続き 2%以上の雇用率を維持できるよう、積極的に採用活動を行っていく。 ◆長谷工コミュニティ ・長谷工コミュニティの障がい者雇用率は 2.02%で法定雇用率を達成している。（H29 年度時点） 	<p>【小学館集英社プロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用率は 1.56%で法定雇用率に対し 3 名不足と未達となっております（令和 3 年 6 月 1 日現在）。引き続き採用コンサルティング企業にご協力いただきながら募集、採用面接を進めております。 <p>【図書館流通センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用率は 2.33%で法定雇用率を達成しています（令和 3 年 6 月 1 日現在）。 <p>【長谷工コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係子会社特例制度による障害者雇用率は令和 3 年 10 月 11 日現在 2.2%で未達成の状況です。令和 4 年 10 月 31 日までに法定雇用率 2.3%を達成する様、障害者が勤務できる環境を整えた「サテライトオフィス」の充実化を掲げ、グループ会社全体で対策を講じています。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・基準日である令和 3 年 6 月 1 日現在で未達成の企業があるとのことですので、引き続き障害者の法定雇用率の達成に向けての努力をお願いいたします。 	2
男女雇用機会均等	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシャル・ハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を就業規則・マニュアルに 	<p>【小学館集英社プロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの社外相談窓口を設置してい 	3	<ul style="list-style-type: none"> 本市要求事項水準を満たしていると判断できます。 	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
法に基づくセクシャル・ハラスメント防止対策について提案されている	記し、発生の防止に努める。	<p>ます。「電話相談」および「web 相談」ができるハラスメント相談窓口となっており、弊社で雇用しているすべての皆様にご利用いただけます。また社内で「ハラスメント委員会」を設置しており、相談しやすい環境整備の一環として社内にて相談をお受けする「相談チーム」を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止ポスター「STOP ハラスメント 許されません！こんなんこと」を事務所内に掲示することで、ハラスメントへの意識向上・啓発を図っています。 <p>【図書館流通センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> MCH グループに設置している内部通報窓口「コンプライアンスデスク」や「ハラスメントを許さない」のポスターを事務室内に掲示しました。また、内部監査実施時に監査員がスタッフに対してハラスメントに関する聞き取りを実施しました。 			
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】					
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている	<ul style="list-style-type: none"> 市政に関する市民の知る権利を尊重するために、情報公開の開示請求があった場合、枚方市と迅速に相談・協議し審議をかける。 「アンケート」集計や「利用者の声」を館内掲示及び、ホームページ上でも報告する。 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて行っています。 年 2 回実施(10 月・2 月)の利用者アンケートのアンケート結果は、館内掲示板・ホームページに掲載しました。 ご意見箱にいただいたご要望等は、ファイルし閲覧できるよう公開しました。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
枚方市個人情報保護条例の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について	<ul style="list-style-type: none"> 組織的対策を講じる方策として『情報管理委員会』の設置を検討。『情報管理委員会』は、PDCAサイクルに基づき、意志決定及び情報共有の上位機関と位置づけ、組織編成する。 図書館流通センターは、プライバシーマーク認定取得しており、従事者研修も最 	<p>【小学館集英社プロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部の危機管理室にて管理体制を構築しています。 <p>【図書館流通センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護方針を定め、その実施のための個人情報保護マネジメントシステムを構築しています。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 予約割当票への個人情報記載箇所の削除を中央図書館に提案し、全館的な取り組みとして実施するなど、高い意識をもって業務に臨んでいる点を評価します。 	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
明確に示されている	低年1回以上実施	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の「運営会議」の中で、個人情報保護や情報管理に関する事項を共有しました。 <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報保護研修」を9月、個人情報動画講習を2月に実施しました。 <p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護環境改善のため、予約割当票に表記されている個人情報の削除を中央図書館に提案、3月1日から実施されました。 ・Pマーク研修を7月にさだ図書館、8月に牧野図書館で実施しました。 <p>【長谷工コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報保護法・リスク予防について」を9月に実施しました。 			
【緊急時における対策に関する事項】					
両施設（監視盤等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に危機管理、安全対策に取り組む。 ・未然防止として設備の点検・整備を行う。 ・館内巡回を実施 ・リスクマネジメントの徹底 ・安全管理委員会を開催 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制を構築しています。毎日、勤務体制に応じて役割分担をしています。 ・定期的に防火・防災訓練を行い、緊急時の対応や、リスクについて協議しています。今期は消防訓練を6月、1月に実施しました。 ・センターと図書館とが一体となり館内の巡回を実施しました。 ・防犯研修として、11月にセンター・図書館合同で「公共施設への不審者侵入時の危機管理」の研修を実施しました。具体例や実例を聞き、意識向上を図りました。 ・新型コロナウイルスについての対応として対応フローやガイドラインを元に、情報共有を密に行いました。 ・運営会議にて、リスク発見、優先順位、対 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>策を考え実行しました。</p> <p>【小学館集英社プロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部にて安全管理委員会を開催し、安全管理に関する情報共有や対策について話し合い、取り組んでいます。また、安全推進監査室による現場監査を9月に実施しました。1次監査(施設による自己監査)、2次監査(前述推進室による監査)と80項目以上のチェック項目を確認し、要改善点については年度内に改善結果報告を提出しました。 <p>【長谷工コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の設備点検を通じ、補修等が必要な設備については、改修工事等の提案をしています。特に消防設備点検や建築設備点検における、不具合報告については、指定管理者間の運営会議等で協議の上、利用者の安全にかかわる事項に関しては最優先に対応しました。 <p>また、コロナ対策につきましては、再委託業者にも長谷工コミュニティのコロナ対策ガイドラインに沿った対応を徹底するよう指示し、特に問題なく業務に従事することにつながりました。</p>			
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から「危機管理マニュアル」を整備し、危機に迅速かつ確実に対応できるよう研修を実施 緊急時連絡網を整備し、緊急時連絡体制を整える。 緊急時には、情報の収集に努めるとともに、速やかに枚方市担当部署をはじめ関連各所に迅速に連絡が行き届くような体制を整える。 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「危機管理マニュアル」を常に整備しています。 火災発生の状況を想定した避難訓練、危機管理マニュアルの読み合わせや防災研修を実施し、迅速に対応できるよう意識向上を図っています。 「緊急連絡網」を整備し、緊急時には出勤可能な職員から始動できる体制を構築しています。 警報発令時は、スタッフを複数体制で待機。情報収集をし、各社本部と連携を取りながら枚方市に迅速に連絡できる体制を 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		整えています。			
構成員間(本支社間含む)、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時には、迅速に対応するとともに『枚方市地域防災計画』に則り、速やかに枚方市へ報告し、枚方市の指示を仰ぐ。 枚方市とのリスク分担に対しては、募集要項に定められている「リスク分担表(別表1)」に則る。 	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 緊急時には、迅速に対応し枚方市へ報告、指示を仰いでいます。 リスク分担表に則っています。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
【その他】					
利用者サービスを維持・向上させる具体的な取り組みについて提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートや、利用者懇談会の意見を元に、企画改良に努める。 全国の類似施設での取り組みを参考に、豊富な運営実績で培ったノウハウとネットワークを最大限に活用し、本事業の利用者サービス向上に努める。 新たな自主事業の実施により、図書館の機能・利用価値を効果的に PR することで、新たな利用者の獲得に繋げる。 読書意欲を喚起する展示や企画を行う。 商用データベース活用の検討を行う。 	【センター】 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートやイベント・講座の開催時のアンケートに寄せられた利用者の意見を活かし、企画内容の改良に努めました。 全国の施設から企画担当者が集まる企画担当者会議にて、他施設の講座・イベント、運営方法を情報共有することで利用者サービスの向上に役立てています。 小学館集英社プロダクションが、一般財団法人日本児童教育振興財団の補助金事業として開催する「小学館おはなし玉手箱キャラバン」では、声優によるよみきかせを楽しんでもらう予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、昨年につき中止となりました。 オンラインを活用した企画として、8月にYouTubeに「さだ・まきの文化創造プロジェクト公式チャンネル」を開設しました。 センター便りやセンター掲示ポスターで案内し、チャンネル登録いただけるよう推奨しました。 【センター】	3	<ul style="list-style-type: none"> 多様な観点から事業を実施し、来館や読書につながるきっかけづくりを精力的に行った点を評価します。 可能な限り事業後の検証を行い、今後の事業展開につながる方向性を示すことができれば、より高い評価につながったと考えます。 ツイッターによる情報発信や継続が望まれる事業の継続性への対応など、工夫を凝らした取り組みは利用者にとっても新鮮で、利用者に寄り添う姿勢は高く評価できます。 	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アロマを使った手作り石けん」では、昨年開催した「アロマで作る除菌スプレー」の集計アンケートにて、「もっと他のアロマ活用方法を学びたい」とのご意見があったことから、改良し開催に至りました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止となった講座「手形アートで作るサマーカレンダー」を、スタッフのお子さんが実演し「手形アートを楽しもう」として動画作成し配信しました。その他にも「さだ科学工作教室ホバークラフトを作ろう」のPR、グリーンカーテンの成長記録、館内装飾のようす、施設のご案内等を配信しました。 <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハーバリウムペンを作ろう！」は、昨年10月にハロウィン柄のものを実施したところ好評で、他のデザインのものも作りたいとのご意見があったため、別のデザインを工夫し、開催に至りました。 ・約1分間で1つの話題を提供する「まきのほぼ1分間講座」シリーズとして、圧力について学ぶ「山田先生の科学教室」、防災に役立つ調理法などを紹介した「防災に役立つ知識(1～3)」、2月のロビー展示(赤鬼・青鬼)の作成過程を「ロビー展示ができるまで」として配信しました。その他、2022年3月末までの期間限定で、活動委員会事業のうちコロナ禍で実施できなかった「ベビーダンス」と「すこやか体操」も配信しました。 <p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域歴史講座やくずし字講座、鉄道おもしろ講座など、イベント開催時のアンケートにより継続が望まれている企画については、講師と打ち合わせし、内容を調整しな 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>がら継続しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月29日からオリジナル葉を配布しました。デザインを黒岩多貴子氏（京阪電車沿線情報誌 K PRESS 表紙イラストレーター）に依頼したことにより、市民にとってよりなじみのあるデザインとなり、たくさんの方にご利用いただきました。 ・緊急事態宣言期間中等利用制限のある期間を中心に、Twitter で図書館員のおすすめ本を発信しました。 ・「エリック・カール」「瀬戸内寂聴」「立花隆」「松岡享子」「那須正幹」「西村京太郎」等の追悼展を実施しました。 ・商用データベースは、さだでは現在導入中の「ポプラディアネット」が3月31日にサービスを終了することから、代わりに「ヨミダス歴史館」を導入予定です。牧野では、ジャパンナレッジを継続して提供しています。レファレンスにも活用しています。 <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書棚が高く本が取りづらかった書架の高さを調整し、利用者にとってより本を見つけやすくなるよう改善を図りました。 ・図書館流通センター保有のしかけ絵本を利用し、1月8日～29日まで、延期となっていた「ひらいてびっくり！しかけ絵本の世界」を実施しました。計21作品を週替わりで展示し9日の「新春おはなし会」では読み聞かせにも利用しました。期間中スタッフ作成のポップアップカードを200部配布する等、子どもだけでなく大人の方の反応も大きく、本の新たな魅力を発信することができました。 ・以前実施した「本と雑誌のリサイクル市」を11月に実施しました。前回(H30)会場は集会室でしたが、今回は図書館の利用者以外にも認知いただけるようラーニングルームにて実施。150名以上の参加があ 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月18日、センターと連携し「冬のおたのしみ会」を実施しました。図書館員によるおはなし会やセンターからのプレゼントの配布を行い、その様子をYouTubeにアップすることにより、より図書館を身近に感じていただけるよう努めました。この事業は、FM ひらかた虹色スクランブルの取材がありました。 ・季節やトレンドに合わせた展示を企画し、今年度中には一般・児童合わせて40本の展示を実施しました。また、展示情報はTwitterでも発信しており、特に2月実施の展示「スーパーゲームワールド」は、図書館関連の著作もある県外の図書館司書からのコメントがあるなど注目いただきました。 ・1月4日、好評いただいている「としょかん福袋」を実施しました。対象年齢別に55袋165冊を準備しましたが、開始から3日ですべて貸し出されました。特に大人向けのものは、開始当日にすべて貸し出される好評ぶりでした。今後もパターンを変えながら、新たな読書体験と出会うきっかけとして継続する予定です。 <p><牧野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OPACが何を指しているか分からない」とのお声をいただき、館内OPACに「OPAC（蔵書検索機）」と表示をつけました。 ・図書館のみ利用される方にも見てもらいやすいように、アンケート集計結果の掲示場所を1F図書館入り口近くに新たに設けました。 ・図書館流通センター紹介の「こどものための100冊展示」「上達の実感できる鳥のぬりえ講座」「バリアフリー映画上映会」「俳句ポスト」を実施しました。バリアフリー映画上映会では初めて参加された方から 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>「バリアフリー映画の意味が参加してわかりました」というお声をいただきました。「俳句ポスト」はお題が毎月替わるので、それを楽しみに投句されています。また、TV番組に絡めた「展示」紹介もあり、「理想本箱（NHKE テレ 12 月 3 回シリーズ）」展も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向け行事「レッツ！としょかん探検」を夏休みに初開催しました。本行事では子どもに図書館の本の並び方や本の探し方等を知ってもらい、図書館に親しみを感じてもらいました。同時に、児童コーナーだけでなく一般コーナーも案内することですべての人に利用される施設ということを理解してもらうことが出来ました。また、子どもからの質問により図書館の本を使った英語の勉強方法を紹介しました。 月替わりで様々なテーマの特集展示や、健康に特化した「いきいきコーナー」展示を行っています。展示資料リストを作成し、館内配布、HP でも発信しています。「自分では選ばない本が紹介されている」と、毎月の展示リストを楽しみにされている方もいらっしゃいました。 秋の図書館まつりでは「本って素敵わたしの〇〇が変わりました」展を開催。センター・図書館での講座講師や活動委員会、地元書店さん等、各方面で活躍中の方から紹介本や紹介コメントをいただき展示しました。様々なジャンルの本の展示となり、新たなジャンルへの興味を惹き起こすきっかけとなりました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため休館していた期間を中心に、Twitter で発信した「今日の本棚」で紹介した本をコメントと合わせて展示を行いました。 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に事業計画で提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮を常に視野に入れて職員の意識向上、利用者に向けた啓蒙活動、エネルギー管理、グリーン調達などの取組みにより、省資源・省エネなどの環境負荷の低減に努める。 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 枚方市環境基本条例の実現に寄与できるよう施設の運営を行いました。 不要な照明の消灯など省エネ対策に取り組んでいるほか、ごみの減量に努め廃棄物については分別し適正に廃棄、保管を行いました。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている	<ul style="list-style-type: none"> 2複合施設すべての情報にアクセス可能とし、目的に応じて各館を使い分けるよう仕様を検討 総合ポータルサイトの設置。 生涯学習市民センター及び図書館の統一のパンフレットを作成 地元 FM 枚方などをはじめとする各種メディアに積極的に情報提供 枚方市記者クラブと密なリレーションを図る。 	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページを随時更新し、最新情報の発信を心がけています。総合ポータルサイトで、3施設を利用者が閲覧しやすい仕様としています。 生涯学習市民センターと図書館一体型のリーフレットを配架しています。 <p>【センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元メディアとしてFMひらかたの放送に出演しイベントや講座の紹介をしました。また、地域情報誌「ぼど」「サンケイリビング」「まいふれ枚方市」「マイライフ新聞社」「河内新聞」「京阪ジャーナル社アゴラ」「枚方つーしん」に情報提供を行いました。 <p><さだ></p> <ul style="list-style-type: none"> マイライフ新聞社に「さだ科学工作教室ホバークラフトを作ろう」「アロマを使った手作り石けん」を掲載いただき、河内新聞では歴史を語る「源氏物語」のインタビューを受けるなど講座の紹介をしていただきました。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）			
		実施状況	評価	評価理由	評価		
		<牧野> ・FM ひらかた「楽しもう枚方ライフ」で「身近な防災・減災講座」が案内されました。 ・枚方市記者クラブには、センターだよりやイベント等のチラシの配架を依頼しています。人形劇フェスティバル等の規模の大きい事業は、プレスリリースを発行し提供を行います。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため該当する事業の開催はありませんでした。					
		一次評価（指定管理者による評価）	平均点	3.0	二次評価（市による評価）	平均点	3.1

一次評価者（指定管理者）所見	<p>今年も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、二度にわたる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間の影響を受けての施設運営となりました。枚方市新型コロナウイルス対策本部会議の方針に則り、換気・消毒等感染対策を徹底し、市民の皆さまにご協力・ご理解をいただきながら、安心・安全にご利用いただけるよう施設運営に努めました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染対策のため、上期に開催を予定していた自主事業や研修、利用者アンケートなどを中止または延期とするものも多々ありましたが、9月30日をもって緊急事態宣言が解除されたことにより、延期していた事業等を10月より順次実施しました。1月27日から3月21日まで、再度のまん延防止等重点措置期間となり、安全面を考慮し開催する講座やイベントを厳選することで中止となった事業もありました。</p> <p>館内装飾では、毎月テーマを決めてロビー、アート・スペース、総合窓口、案内掲示板付近など、市民の皆さまに楽しんでいただけるよう工夫をすることで施設のイメージや雰囲気づくりにも努めました。ロビーから図書館へ誘う仕掛けを用いた装飾なども行い、楽しみながら図書館の本にたどり着く様子も見受けられました。来館者の中には、毎月の装飾を楽しみにされている方や装飾と一緒に記念撮影をされる方も多く、気軽に立ち寄れる絶好の撮影スポットとなりました。イベントに合わせた装飾も行い、イベント参加へのPRやイベント内容への関心を高めることに繋がりました。</p> <p>コロナ禍で自宅でも楽しんでいただけるように8月には、You Tubeにて「さだ・まきの文化創造プロジェクト公式チャンネル」を立ち上げ配信を始めました。施設のご案内や館内装飾のようす、コロナの影響で開催できなかった自主事業、自主事業のPR、講座や活動委員会事業などを配信してきました。今後も様々な内容で楽しんでいただけるよう配信してまいります。</p> <p>枚方市立図書館では7月1日より「ひらかた電子図書館」を開設し、電子書籍の貸出サービスを開始しました。来館利用される方への認知度や興味は決して高いとは言えませんが、行事会場内やカウンターでチラシを配布し紹介を行い宣伝に努めています。電子図書館の備えている色々な資料、文字の読みづらい方や障害者への読書バリアフリー対応として音声読みあげ機能付きのコンテンツ、ご家族全員で楽しめるうごくえほんコンテンツなど、生活場面に合わせた資料が利用できることも紹介し、新たな利用者層の獲得につながるツールとして、今後も利用促進に取り組んでまいります。</p> <p>上期に未達成である障害者法定雇用率につきましては、引き続き採用活動を続け障害者が勤務できる環境を整える等の対策を講じて改善に向けて取り組んでまいります。</p> <p>建築設備全般においては両施設とも大規模修繕工事の範囲外であった空調機器、給水設備、照明設備、自動ドア、舞台設備などに老朽化が目</p>
-----------------------	--

	<p>立ってきています。運営に支障をきたす劣化箇所は都度修繕費で修理していますが、老朽化の進行している設備の計画的な更新工事が必要です。引き続き、修繕計画・不具合状況報告書を作成の上、枚方市文化生涯学習課とも密に情報交換を行い、常に安心・安全な空間を提供できるよう建物維持管理に努めてまいります。</p>
--	--

総合評価		<p>【センター】 令和3年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用に制限が設けられた期間がありましたが、利用者のクラスター等を発生させることなく、利用者の協力を得ながら、安全・安心な施設運営ができたことは、一定の評価ができるものと考えます。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少してしまった施設稼働率・利用者数は上昇していないので、その改善を今後、期待します。</p> <p>【図書館】 図書館への来館や貸出に結び付く多様な取り組みを実施するとともに、閲覧室のレイアウト変更や蔵書の更新をはじめ、様々な年代の市民の利便性向上のために積極的なアプローチを試みた姿勢は評価できます。今後も継続した取り組みを期待するとともに、事業の効果検証を行うことにより、その結果を以降の事業や館内運営に活用し、次回の評価に繋げることを期待します。</p>
	二次評価者（施設所管部署）所見	
		<p>事業計画に則した適切な管理運営を行っている</p>

1. 利用状況

《蹉跎施設》

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生涯学習市民センター	開館日	349 日	329 日	200 日	293 日
	利用者数	101,934 人	90,599 人	32,878 人	52,355 人
	施設利用率	61.1 %	59.8 %	46.3 %	45.6 %
図書館	開館日	342 日	344 日	308 日	342 日
	来館者数	230,801 人	217,218 人	123,019 人	165,792 人
	貸出冊数	308,697 冊	305,202 冊	212,454 冊	285,770 冊
事業開催回数		30 回	37 回	12 回	50 回
事業参加者数		825 人	1,728 人	751 人	1,695 人

《牧野施設》

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生涯学習市民センター	開館日	349 日	329 日	200 日	293 日
	利用者数	95,729 人	76,742 人	31,565 人	50,334 人
	施設利用率	61.3 %	60.2 %	47.3 %	47.2 %
図書館	開館日	342 日	344 日	308 日	342 日
	来館者数	204,603 人	183,759 人	103,592 人	143,007 人
	貸出冊数	242,473 冊	220,571 冊	172,595 冊	250,170 冊
事業開催回数		32 回	30 回	19 回	36 回
事業参加者数		1,132 人	1,102 人	760 人	991 人

《牧野北分館》

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日		347 日	327 日	200 日	294 日
生涯学習市民センター	利用者数	31,970 人	27,045 人	14,054 人	20,251 人
	施設利用率	52.1 %	52.2 %	48.3 %	46.4 %
事業開催回数		1 回	2 回	1 回	4 回
事業参加者数		5 人	32 人	8 人	29 人

2. 収支状況

歳入

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理料	218,537,000	220,560,000	221,224,572	222,586,000
利用収入				
その他	621,817	1,224,922	893,028	610,899
小計 a	219,158,817	221,784,922	222,117,600	223,196,899

別掲として市への収入として

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
諸室使用料	15,203,300	13,077,050	7,410,000	10,612,300
資料複写等収入	680,280	601,690	319,120	373,050

歳出

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	156,730,000	157,782,333	160,135,883	164,180,051
施設維持管理費	22,311,828	28,064,230	28,040,000	28,040,000
光熱水費	21,897,675	20,503,111	17,637,719	22,532,448
通信運搬費	1,642,500	2,264,788	2,376,442	2,363,993
事業費	1,974,210	1,605,001	868,771	1,367,985
事務費	8,458,267	6,575,830	7,483,080	5,447,613
広告宣伝費	331,517	521,584	417,789	422,267
修繕費	1,710,311	1,976,299	1,722,639	1,811,892
その他	4,036,920	2,619,253	1,763,017	2,665,396
小計 b	219,093,228	221,912,429	220,445,340	228,831,645

単位：円

合計 a-b	65,589	-127,507	1,672,260	-5,634,746
--------	--------	----------	-----------	------------